



五中だより

府中市立府中第五中学校

校長 伊藤 淳

令和5年2月17日 No.10

「人事を尽くして天命を待つ」

来週の2月21日(火)には、都立高校の一次・前期学力検査が行われます。3年生の普段の学校生活や授業に一生懸命に取り組む姿からも、すべての生徒が第一志望の学校に合格してほしいと願うばかりです。



『人事を尽くして天命を待つ』…中国のことわざで「人間の能力で可能な限りの努力をしたら、あとは焦らず静かに結果を天の意思に任せる」という意味で、第3学年だより「Hop Step Jump」にも載っていた言葉です。大切なことは可能な限り精一杯の努力をするということです。

不安や孤独を感じることもあるかもしれませんが、入試は自分一人で闘っているのではないということも忘れないでください。クラスの仲間は共にたたかう団体戦のメンバーであり、お家の方や先生方は皆さんの心の支えとなる応援団です。

自分が望む結果とならなかった場合でも、一生懸命にその日に向けて頑張りを続けた自分自身をほめてあげてください。取り組んできた努力は、必ずこれからの人生の力となってくれます。人生の中で花咲く時期は一人ひとり違います。新たな場所でのさまざまなことや人との出会いによってその先の人生が大きく変わることもあります。

今まで努力してきた自分を信じて、自分のため、そして皆さんを支えてくれる人たちのためにも、後悔することのないよう最後の最後まで粘り強く試験に臨んでください。



1年生茶道体験について

2月14日(火)と15日(水)に1年生茶道体験を実施しました。この体験授業は今年で5年目になり、日本の伝統文化に触れられる貴重な機会として、これまでも美術の授業内で行われてきたものです。1年生はこの日に向けて“至極の一杯”をいただくために、お茶の歴史を主体的に学び、2学期には自分だけの唯一無二な抹茶茶碗を制作しました。

そして迎えた茶道体験当日。お茶の先生から床の間や掛け軸についてのお話をいただいた後、実際に本物のお手前を見せていただきました。目の前で展開される美しい所作に、生徒たちの目は奪われ、全員が固唾をのんで見入っていました。そしていよいよ自分たちの番です。和菓子で口の中を甘くした後、茶筌でお茶を点てていきます。クリーミーに泡立ったほろ苦いお抹茶を、好奇心に満ちた表情で味わう姿はとても微笑ましく、見ていて幸せな気持ちになりました。ほくほく顔でおいしそうに飲み干す生徒。「にが〜い」と顔をしかめながらも何度もトライする生徒。慣れない正座に足をしばれさせ、苦悶の表情を浮かべる生徒。体験したことに対するリアクションは様々でしたが、その表情はどこか皆うれしそうで、和やかに過ぎ行く非日常な一時を、心地よく共有することができました。

